

浦島太郎

作曲 不詳
作詞 乙骨三郎

むかしむかし浦島は

助けた亀に連れられて

龍宮城へ来て見れば

絵にもかけない美しさ

乙姫様のごちそうに

鯛やひらめの舞踊り

ただ珍しく面白く

月日のたつのも夢の中

遊びにあきて気がついて

おいとまごいも そこそこに

帰る途中の楽しみは

みやげにもらった玉手箱

帰って見ればこはいかに

元居た家も村も無く

みちに行きあう人々は

顔も知らない者ばかり

心細さに蓋取れば

あけて悔しき玉手箱

申からはつと白けむり

たちまち太郎はおじいさん

